



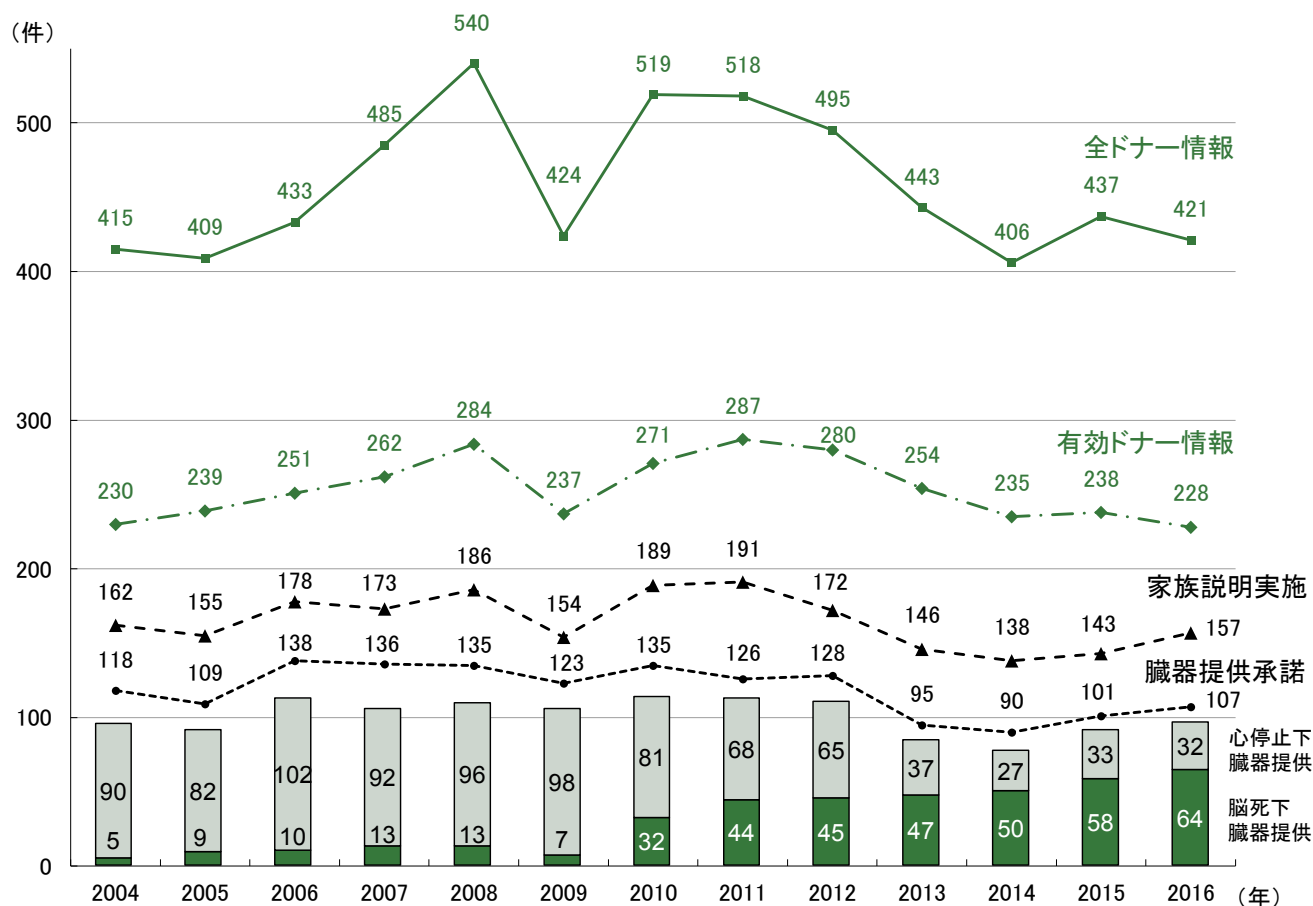
第7章 ドナー情報

臓器提供・移植データブック 2017





# 図・表 7.1 ドナー情報数・承諾数・臓器提供数 年次推移



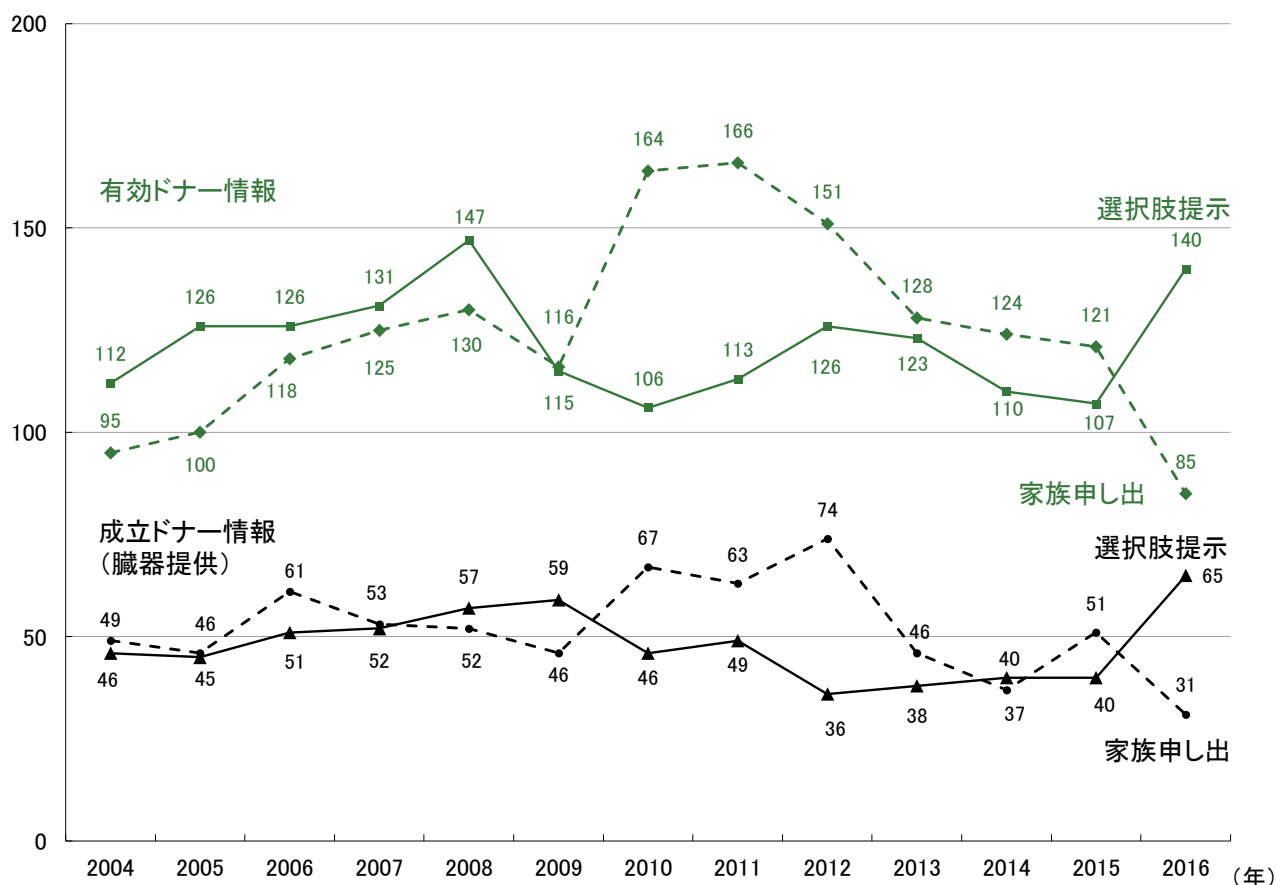
年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
全ドナー情報	415	409	433	485	540	424	519	518	495	443	406	437	421	5,945
有効ドナー情報	230	239	251	262	284	237	271	287	280	254	235	238	228	3,296
家族説明実施	162	155	178	173	186	154	189	191	172	146	138	143	157	2,144
臓器提供承諾	117	109	138	136	135	123	135	126	128	95	90	101	107	1,540
脳死下臓器提供	5	9	10	13	13	7	32	44	45	47	50	58	64	397
心停止下臓器提供	90	82	102	92	96	98	81	68	65	37	27	33	32	903

2004年から2016年の間、年間の全ドナー情報(当社に連絡があったドナー情報の総数)450件前後、有効ドナー情報(ドナー適応があると判断した件数)250件前後、家族説明実施(コーディネーターを派遣し臓器提供の説明をした件数)150件前後、臓器提供承諾120件前後で推移している。



## 図・表 7.2 有効ドナー情報・臓器提供件数 選択肢提示・家族申し出の内訳

(件)



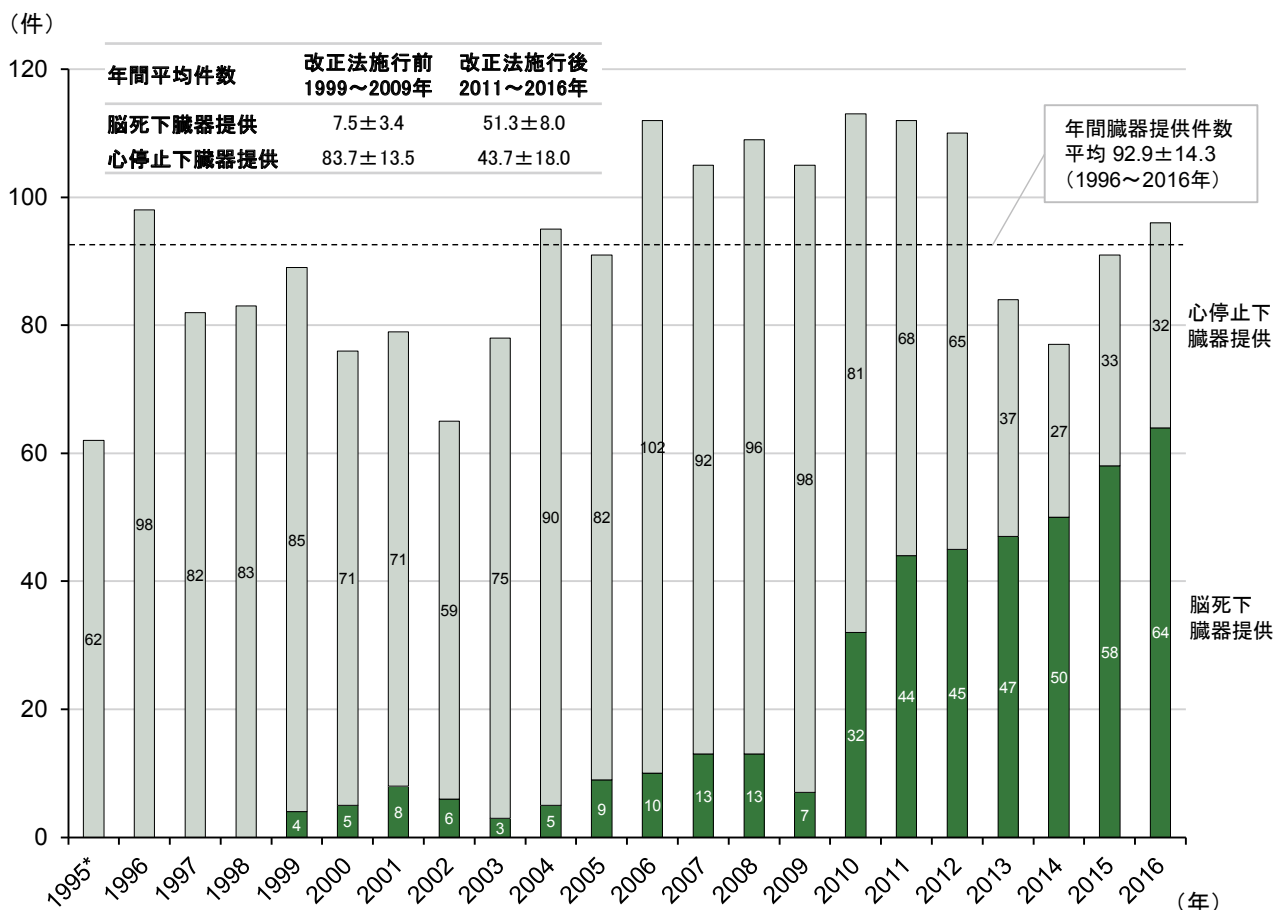
年		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
有効ドナー情報	選択肢提示	112	126	126	131	147	115	106	113	126	123	110	107	140	1,582
	家族申し出	95	100	118	125	130	116	164	166	151	128	124	121	85	1,623
成立ドナー情報	選択肢提示	46	45	51	52	57	59	46	49	36	38	40	40	65	624
	家族申し出	49	46	61	53	52	46	67	63	74	46	37	51	31	676

分類できない情報があるため、件数が一致しない場合がある

2004年から2016年の間の有効ドナー情報のうち、選択肢提示(医療者から家族への臓器提供の選択肢提示)1,582件、家族申し出(家族から医療者への臓器提供の申し出)1,623件であった。成立ドナー情報(臓器提供に至った件数)のうち、選択肢提示624件、家族申し出676件であった。2010年の改正臓器移植法施行後に家族申し出が増加したが、その後減少している。



# 図・表 7.3 臓器提供数(脳死下・心停止下) 年次推移



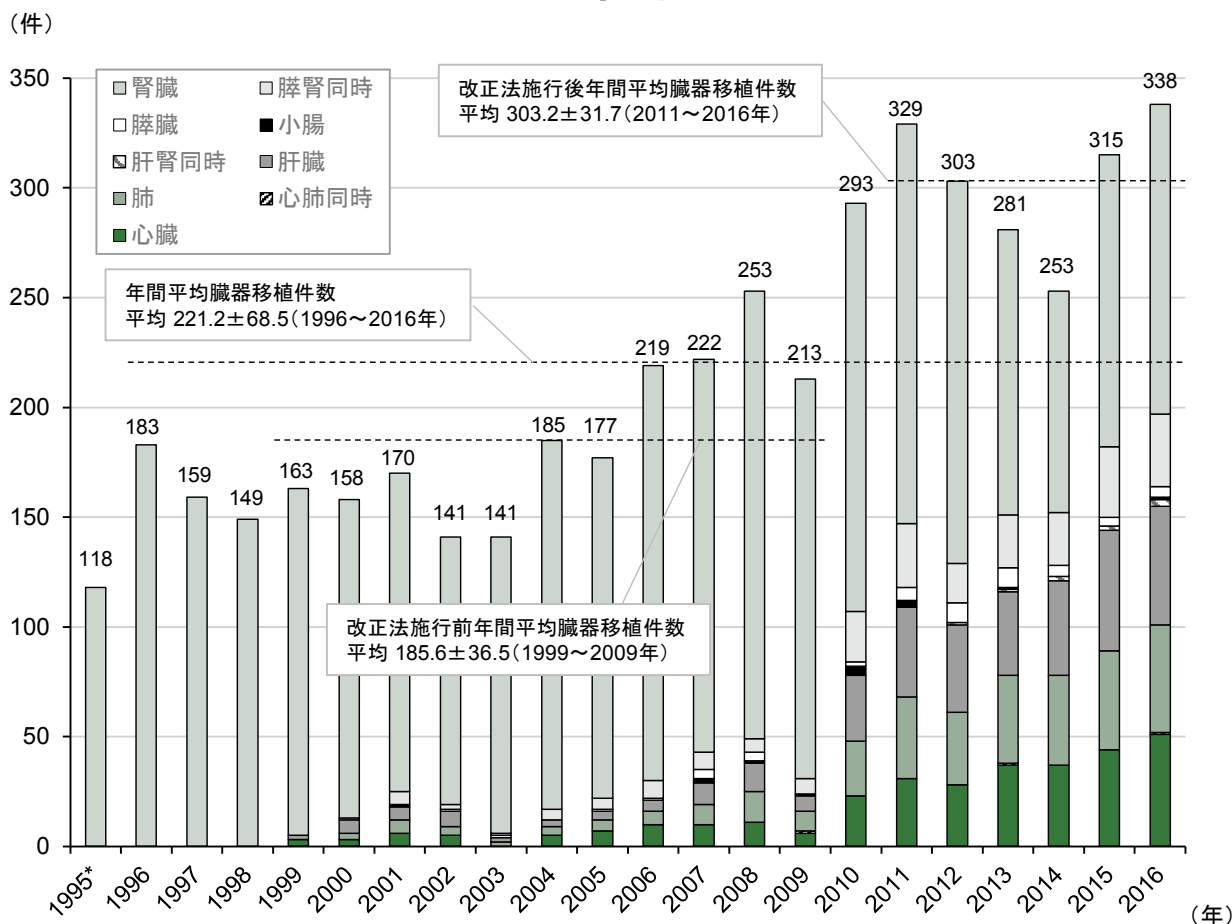
年	1995*	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
脳死下臓器提供	-	-	0	0	4	5	8	6	3	5	9	10	13	13	7	32	44	45	47	50	58	64	423
心停止下臓器提供	62	98	82	83	85	71	71	59	75	90	82	102	92	96	98	81	68	65	37	27	33	32	1,589
合計	62	98	82	83	89	76	79	65	78	95	91	112	105	109	105	113	112	110	84	77	91	96	2,012

\*1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4月~12月の件数

1995年4月の日本腎臓移植ネットワーク発足から2016年末まで、脳死下臓器提供423件、心停止下臓器提供1,589件、合計2,012件が実施された。1996~2016年の年間臓器提供件数は、平均 92.9±14.3件であった。改正臓器移植法施行前(1999~2009年)は、脳死下臓器提供平均7.5±3.4件、心停止下臓器提供平均83.7±13.5件、改正臓器移植法施行後(2011~2016年)はそれぞれ51.3±8.0件、43.7±18.0件であった。



# 図・表 7.4 臓器移植件数 年次推移



年	1995*	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
心臓	—	—	0	0	3	3	6	5	0	5	7	10	10	11	6	23	31	28	37	44	51	317	
心肺同時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
肺	—	—	—	0	0	3	6	4	2	4	5	6	9	14	9	25	37	33	40	41	45	49	332
肝臓	—	—	0	0	2	6	6	7	2	3	4	5	10	13	7	30	41	40	38	43	55	54	366
肝腎同時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	9
膵臓	—	—	—	—	0	0	0	1	1	0	1	1	4	4	0	2	6	9	9	5	4	5	52
膵腎同時	—	—	—	—	0	1	6	2	1	5	5	8	8	6	7	23	29	18	24	24	32	33	232
腎臓	118	183	159	149	158	145	145	122	135	168	155	189	179	204	182	186	182	174	130	101	133	141	3,438
小腸	—	—	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	4	3	0	1	0	0	1	14
合計	118	183	159	149	163	158	170	141	141	185	177	219	222	253	213	293	329	303	281	253	315	338	4,763

\*1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4月~12月の件数

1995年4月から2016年末まで、4,763件の死体臓器移植が実施された。改正臓器移植法施行前(1999~2009年)の年間平均臓器移植件数は185.6±36.5件、改正臓器移植法施行後(2011~2016年)の年間平均臓器移植件数は303.2±31.7件であり、t検定にて有意差(p<0.05)が認められた。



第8章 脳死下臓器提供

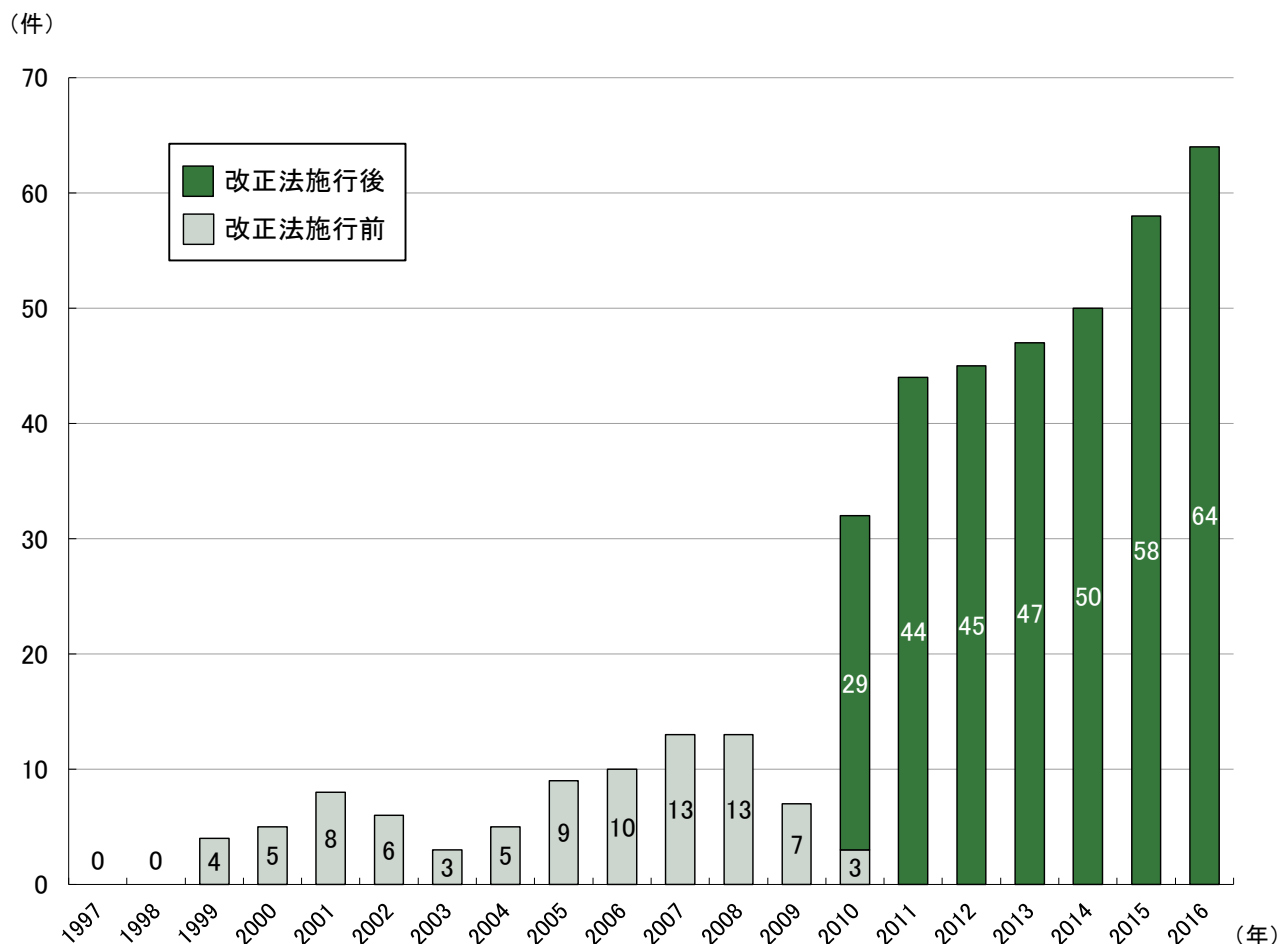
臓器提供・移植データブック 2017







# 図・表 8.1 脳死下臓器提供 年次提供件数

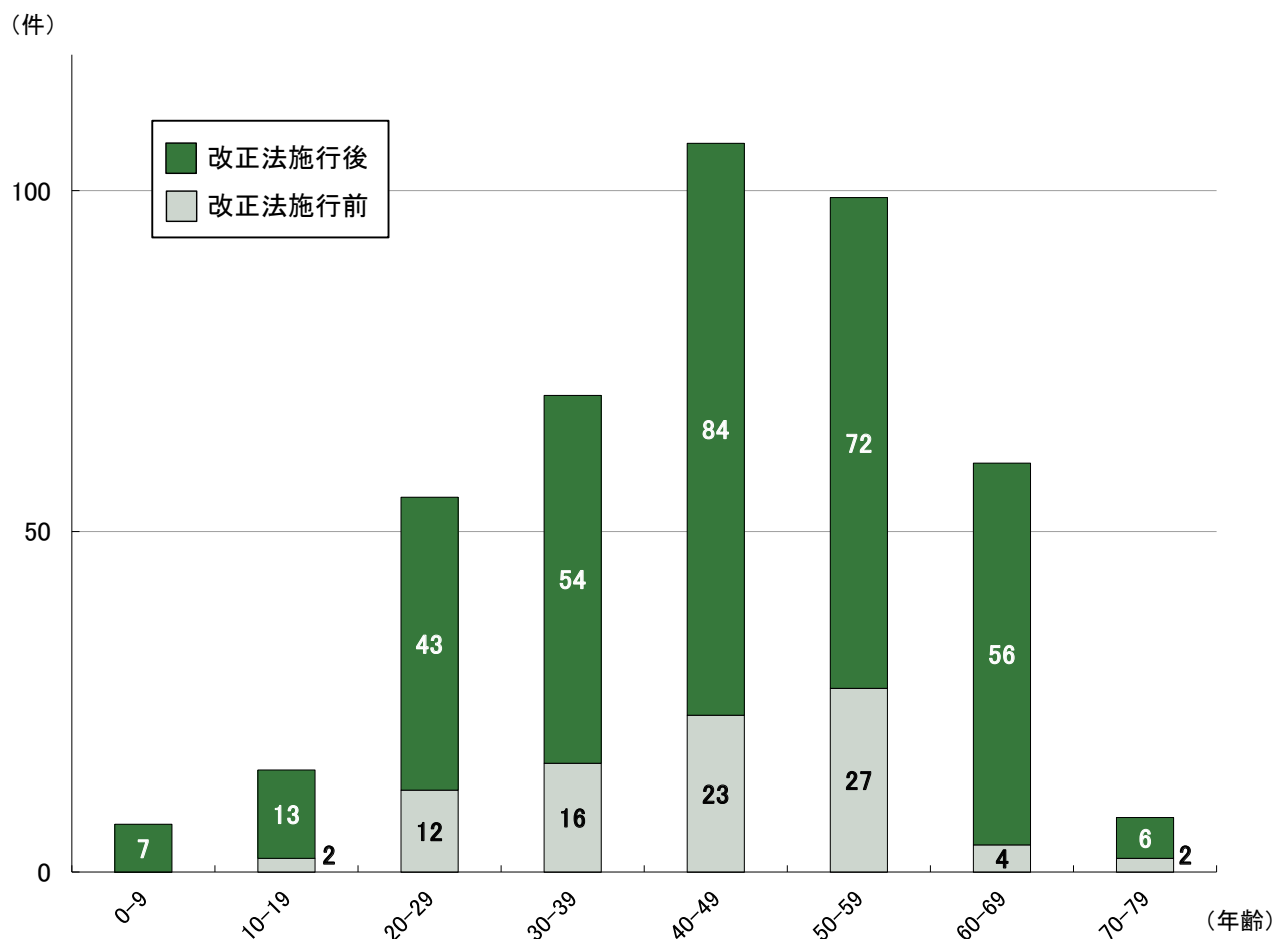


年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
件数	0	0	4	5	8	6	3	5	9	10	13	13	7	32	44	45	47	50	58	64	423

1997年10月16日、臓器の移植に関する法律の施行により脳死下臓器提供が可能となり、1999年2月に1例目の脳死下臓器提供が実施された。その後年間3～13件で推移したが、2010年7月17日に改正臓器移植法が施行され、年間40件を超えるようになり、2016年は64件、合計423件に達した。



## 図・表 8.2 脳死下臓器提供 ドナー年齢



年齢	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	合計
改正法施行前		2	12	16	23	27	4	2	86
改正法施行後	7	13	43	54	84	72	56	6	335
合計	7	15	55	70	108	100	60	8	423

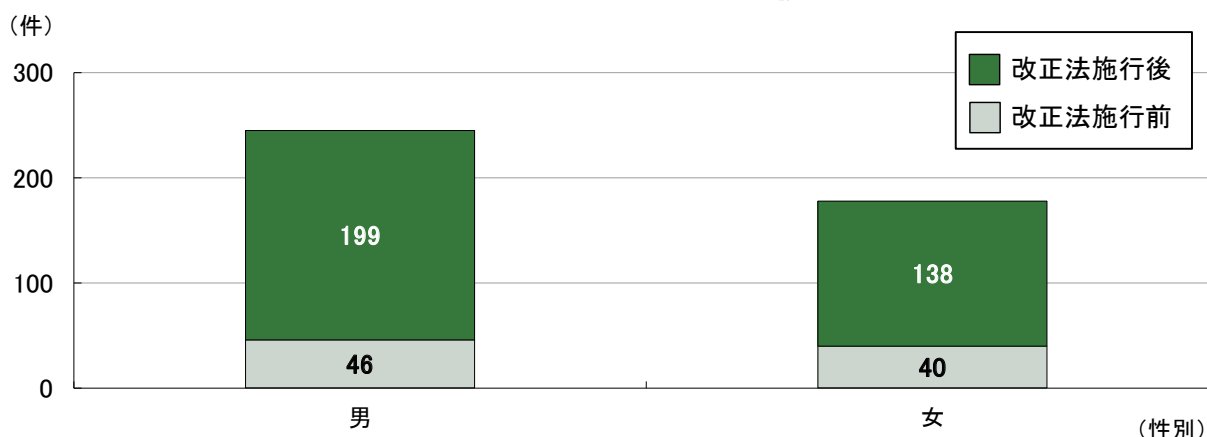
15歳未満: 改正法施行前0件、施行後12件

平均: 改正法施行前43.9±12.7歳、施行後44.5±15.4歳、全例44.3±14.9歳

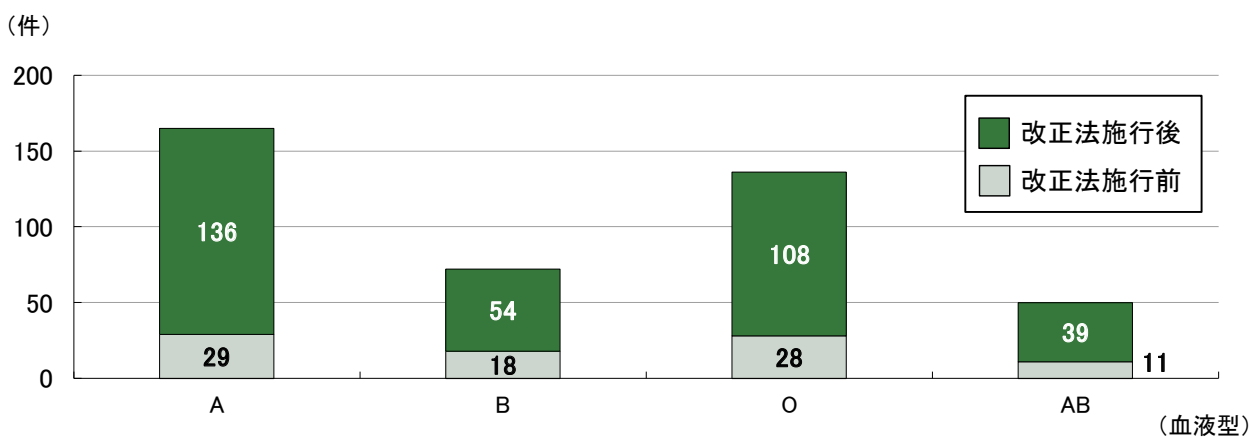
脳死下臓器提供423件中、年齢(10歳階級別)では、40～49歳が108件(25.5%)、50～59歳が100件(23.6%)であった。改正法施行前の平均は43.9±12.7歳、改正法施行後は44.5±15.4歳、全例では44.3±14.9歳であり、t検定による有意差は認められなかった。



## 図・表 8.3 / 8.4 脳死下臓器提供 ドナー性別・血液型



性別	男	女	合計
改正法施行前	46	40	86
改正法施行後	199	138	337
合計	245	178	423

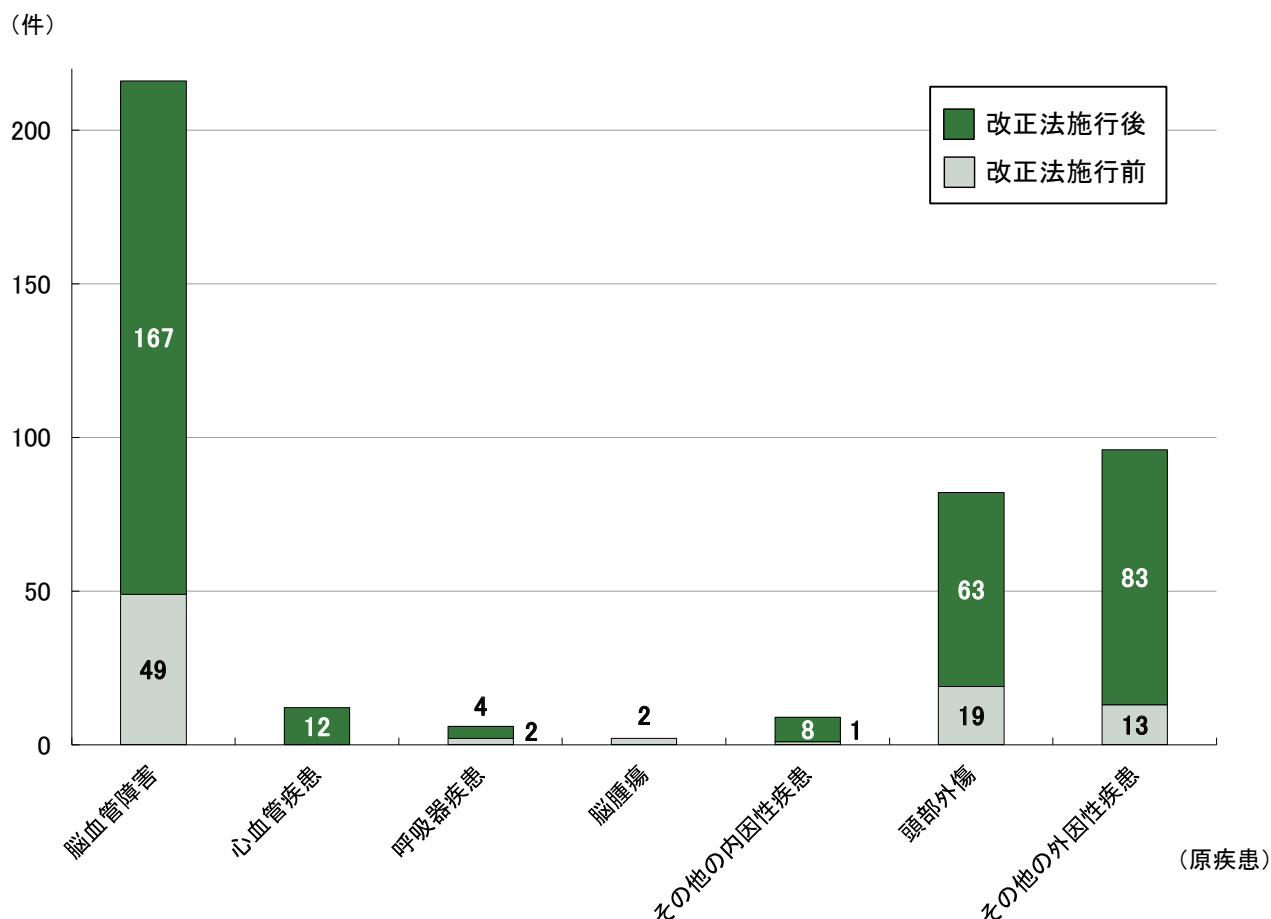


血液型	A	B	O	AB	合計
改正法施行前	29	18	28	11	86
改正法施行後	136	54	108	39	337
合計	165	72	136	50	423

脳死下臓器提供423件中、男性245件(57.9%)、女性178件(42.1%)であり、血液型A型165件(39.0%)、B型72件(17.0%)、O型136件(32.2%)、AB型50件(11.8%)であった。



## 図・表 8.5 脳死下臓器提供 ドナー原疾患

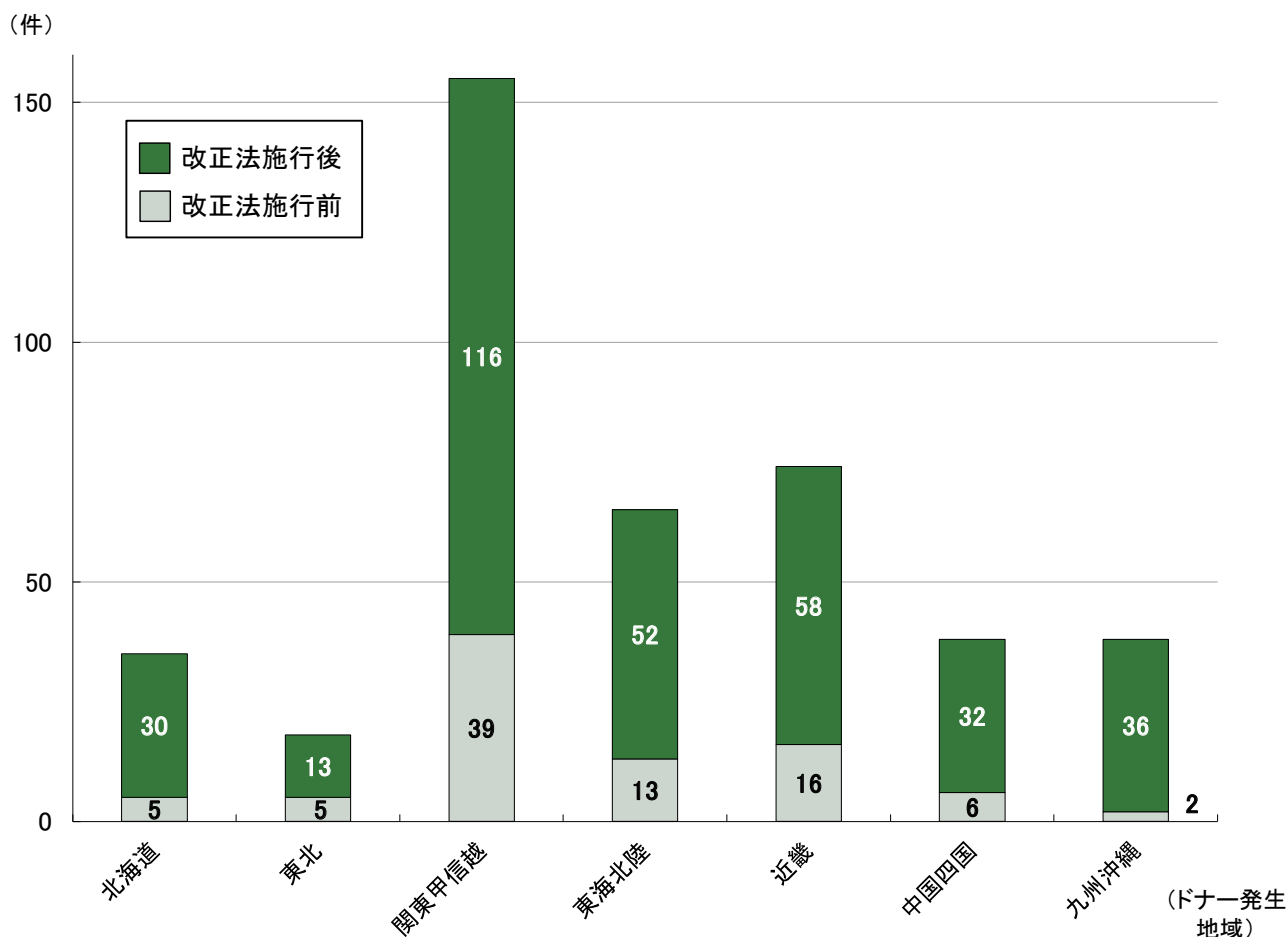


原疾患	内因性疾患					小計	外因性疾患			合計
	脳血管障害	心血管疾患	呼吸器疾患	脳腫瘍	その他		頭部外傷	その他	小計	
改正法施行前	49		2	2	1	54	19	13	32	86
改正法施行後	167	12	4		8	191	63	83	146	337
合計	216	12	6	2	9	245	82	96	178	423

脳死下臓器提供423件中、ドナーの原疾患は、脳血管障害216件(51.1%)、頭部外傷82件(19.4%)であった。内因性疾患が245件(57.9%)、外因性疾患が178件(42.1%)であった。改正法施行前後で内因・外因の割合について、 $\chi$  二乗検定による有意差は認められなかった。



図・表 8.6  
脳死下臓器提供  
ドナー発生地域



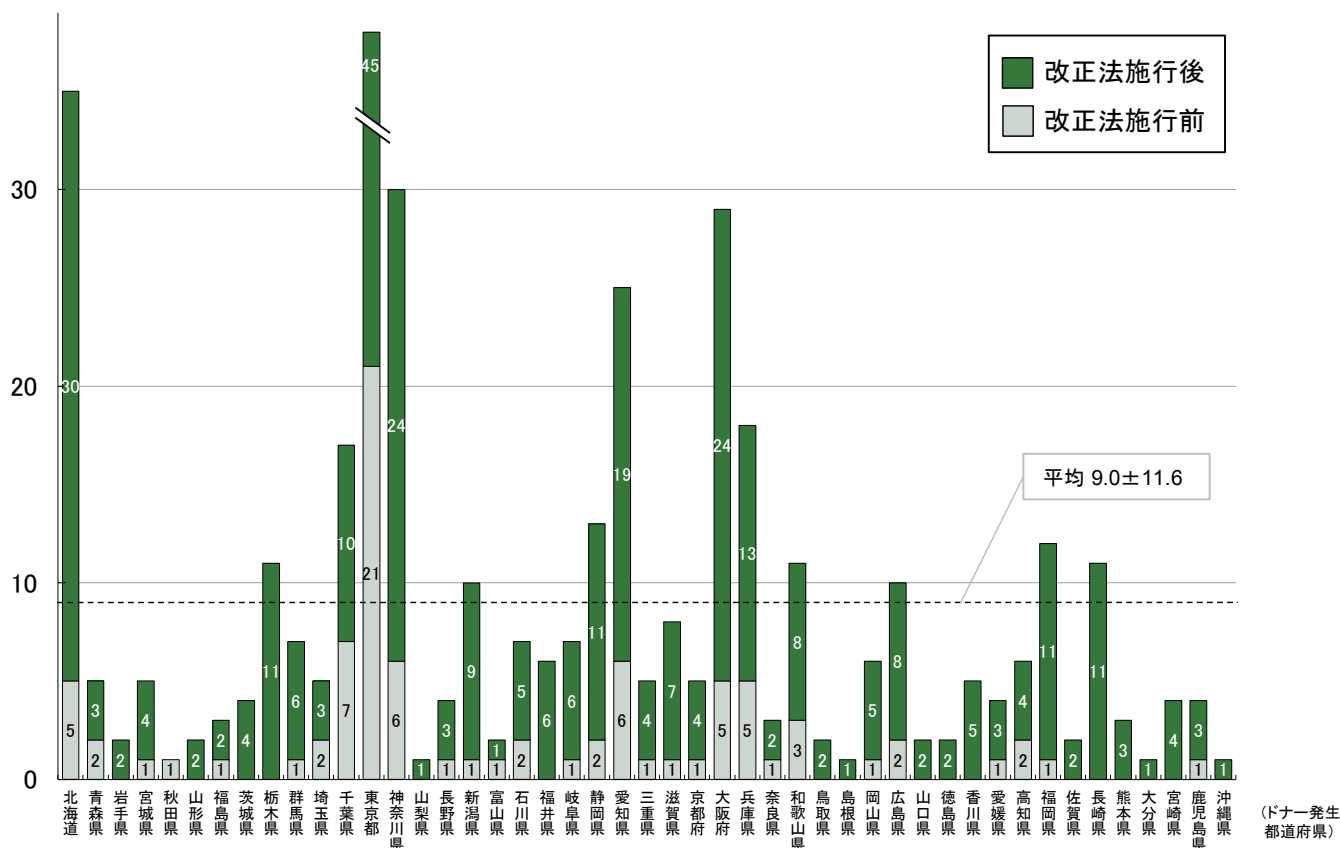
ドナー発生地域	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
改正法施行前	5	5	39	13	16	6	2	86
改正法施行後	30	13	116	52	58	32	36	337
合計	35	18	155	65	74	38	38	423

脳死下臓器提供423件中、ドナーの発生地域は、北海道35件(8.3%)、東北18件(4.3%)、関東甲信越が155件(36.6%)、東海北陸65件(15.4%)、近畿74件(17.5%)、中国四国38件(9.0%)、九州沖縄38件(9.0%)であった。



# 図・表 8.7 脳死下臓器提供 ドナー発生都道府県

(件)

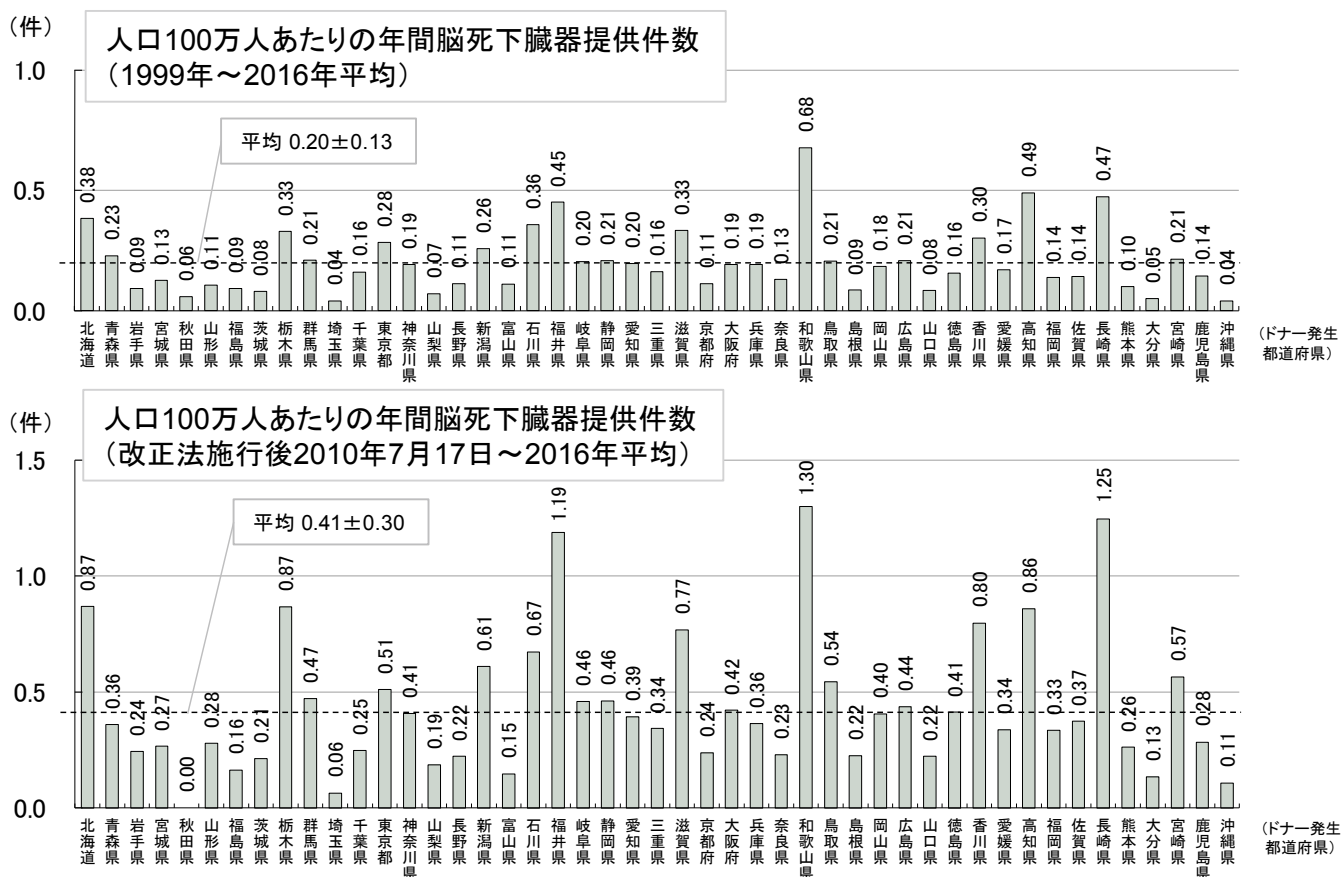


都道府県	改正法施行前	改正法施行後	合計	都道府県	改正法施行前	改正法施行後	合計	都道府県	改正法施行前	改正法施行後	合計	都道府県	改正法施行前	改正法施行後	合計
北海道	5	30	35	東京都	21	45	66	滋賀	1	7	8	香川		5	5
青森	2	3	5	神奈川県	6	24	30	京都	1	4	5	愛媛	1	3	4
岩手		2	2	山梨		1	1	大阪	5	24	29	高知	2	4	6
宮城	1	4	5	長野	1	3	4	兵庫	5	13	18	福岡	1	11	12
秋田	1	0	1	新潟	1	9	10	奈良	1	2	3	佐賀		2	2
山形		2	2	富山	1	1	2	和歌山	3	8	11	長崎		11	11
福島	1	2	3	石川	2	5	7	鳥取		2	2	熊本		3	3
茨城		4	4	福井		6	6	島根		1	1	大分		1	1
栃木		11	11	岐阜	1	6	7	岡山	1	5	6	宮崎		4	4
群馬	1	6	7	静岡	2	11	13	広島	2	8	10	鹿児島	1	3	4
埼玉	2	3	5	愛知	6	19	25	山口		2	2	沖縄		1	1
千葉	7	10	17	三重	1	4	5	徳島		2	2	合計	86	337	423

脳死下臓器提供423件中、都道府県別では、東京都66件(15.6%)、北海道35件(8.3%)、神奈川県30件(7.1%)、大阪府29件(6.9%)、愛知県25件(5.9%)、平均9.0件であった。



# 図・表 8.8 脳死下臓器提供 ドナー発生都道府県(人口100万人あたり)



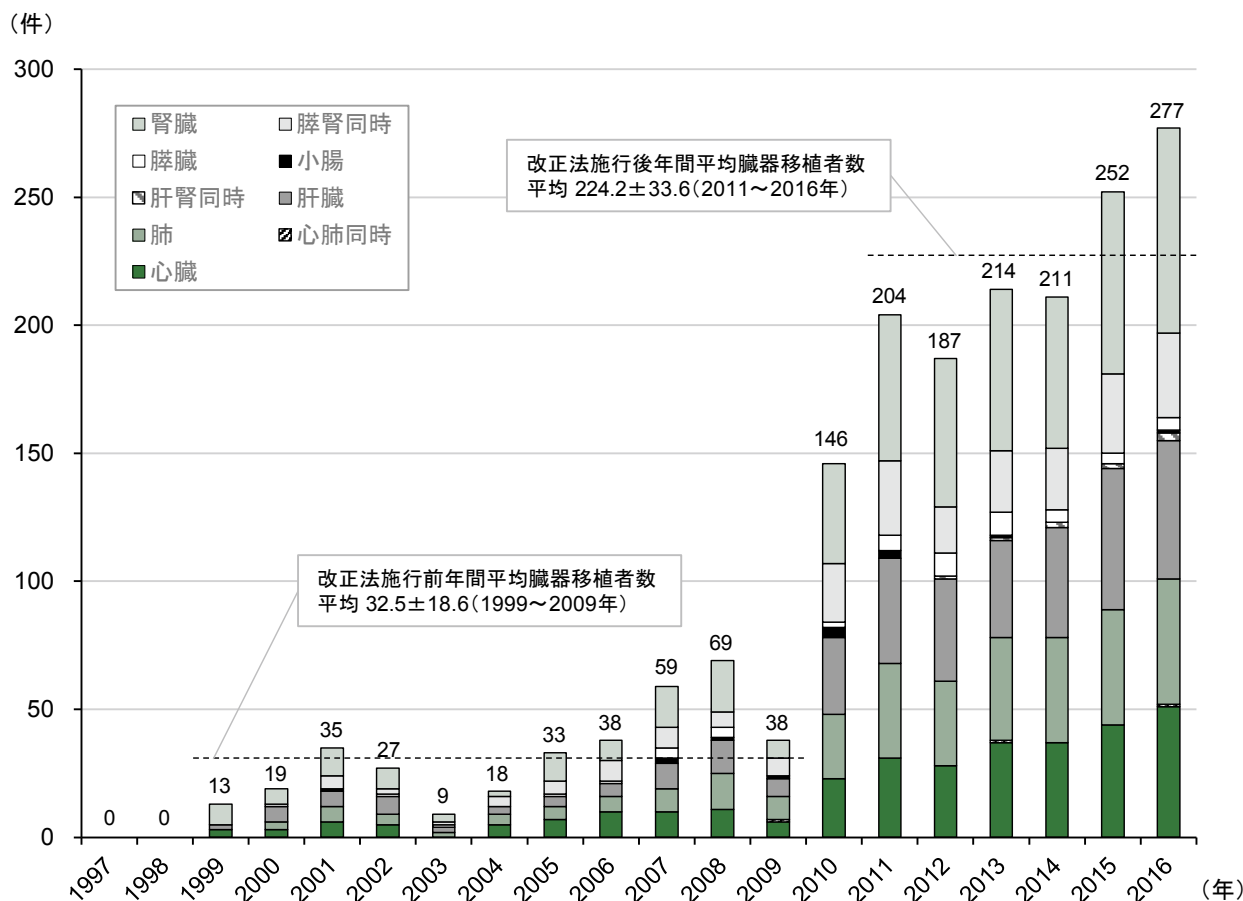
都道府県	人口* (100万人)	1999-2016年	改正法施行後	都道府県	人口* (100万人)	1999-2016年	改正法施行後	都道府県	人口* (100万人)	1999-2016年	改正法施行後	都道府県	人口* (100万人)	1999-2016年	改正法施行後
北海道	5.35	0.38	0.87	東京	13.62	0.28	0.51	滋賀	1.41	0.33	0.77	香川	0.97	0.30	0.80
青森	1.29	0.23	0.36	神奈川	9.15	0.19	0.41	京都	2.61	0.11	0.24	愛媛	1.38	0.17	0.34
岩手	1.27	0.09	0.24	山梨	0.83	0.07	0.19	大阪	8.83	0.19	0.42	高知	0.72	0.49	0.86
宮城	2.33	0.13	0.27	長野	2.09	0.11	0.22	兵庫	5.52	0.19	0.36	福岡	5.10	0.14	0.33
秋田	1.01	0.06	0.00	新潟	2.29	0.26	0.61	奈良	1.36	0.13	0.23	佐賀	0.83	0.14	0.37
山形	1.11	0.11	0.28	富山	1.06	0.11	0.15	和歌山	0.95	0.68	1.30	長崎	1.37	0.47	1.25
福島	1.90	0.09	0.16	石川	1.15	0.36	0.67	鳥取	0.57	0.21	0.54	熊本	1.77	0.10	0.26
茨城	2.91	0.08	0.21	福井	0.78	0.45	1.19	島根	0.69	0.09	0.22	大分	1.16	0.05	0.13
栃木	1.97	0.33	0.87	岐阜	2.02	0.20	0.46	岡山	1.92	0.18	0.40	宮崎	1.10	0.21	0.57
群馬	1.97	0.21	0.47	静岡	3.69	0.21	0.46	広島	2.84	0.21	0.44	鹿児島	1.64	0.14	0.28
埼玉	7.29	0.04	0.06	愛知	7.51	0.20	0.39	山口	1.39	0.08	0.22	沖縄	1.44	0.04	0.11
千葉	6.24	0.16	0.25	三重	1.81	0.16	0.34	徳島	0.75	0.16	0.41	合計	126.93	0.20	0.41

\*人口統計:総務省統計局(2016年10月1日現在)

人口100万人あたりの年間脳死下臓器提供件数は、1999年～2016年では平均0.20件であり、改正法施行後(2010年7月17日～2016年)では平均0.41件であった。



# 図・表 8.9 脳死下臓器提供 年別移植者数



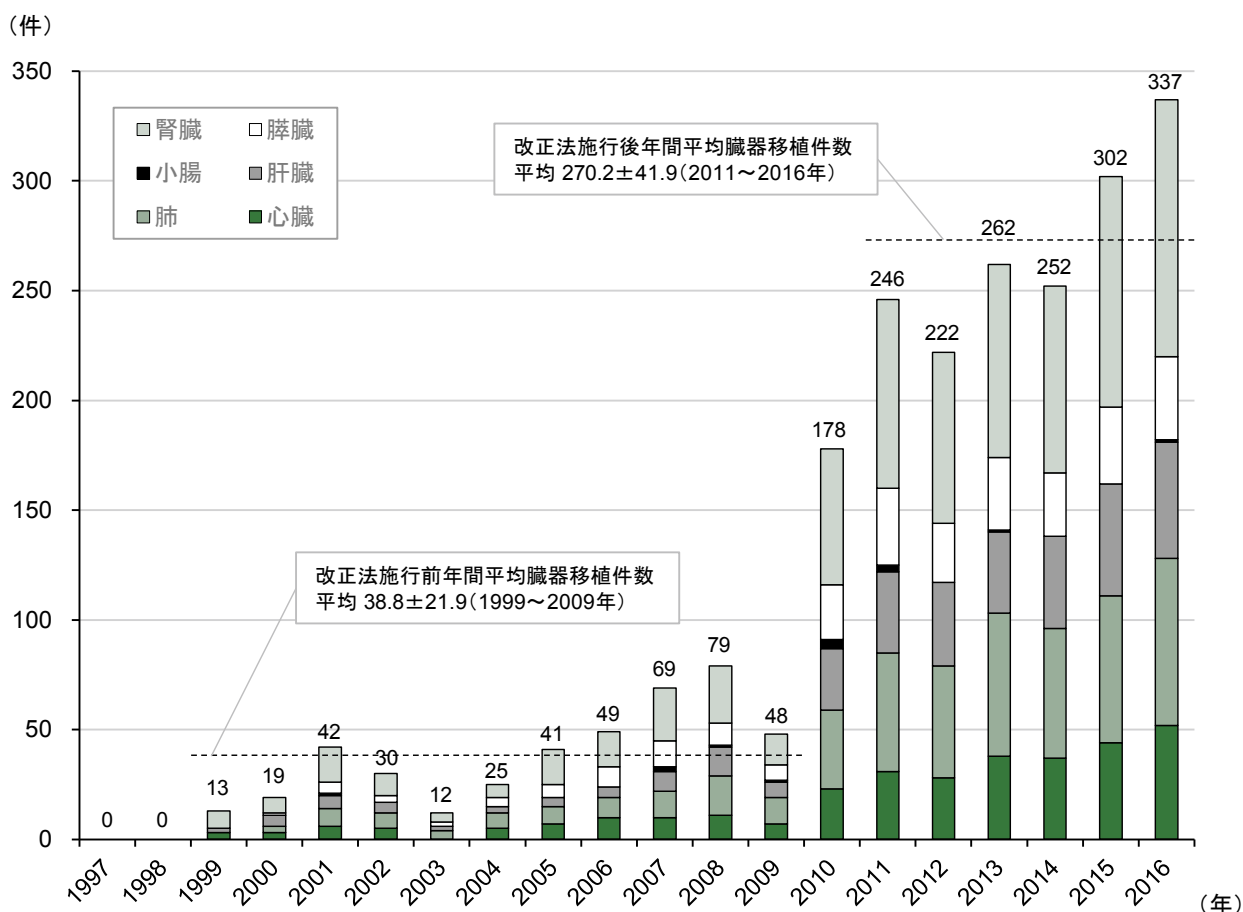
年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
心臓	0	0	3	3	6	5	0	5	7	10	10	11	6	23	31	28	37	37	44	51	317
心肺同時	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
肺	—	0	0	3	6	4	2	4	5	6	9	14	9	25	37	33	40	41	45	49	332
肝臓	0	0	2	6	6	7	2	3	4	5	10	13	7	30	41	40	38	43	55	54	366
肝腎同時	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	9
膵臓	—	—	0	0	0	1	1	0	1	1	4	4	0	2	6	9	9	5	4	5	52
膵腎同時	—	—	0	1	5	2	1	4	5	8	8	6	7	23	29	18	24	24	31	33	229
腎臓	0	0	8	6	11	8	3	2	11	8	16	20	7	39	57	58	63	59	71	80	527
小腸	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	4	3	0	1	0	0	1	14
合計	0	0	13	19	35	27	9	18	33	38	59	69	38	146	204	187	214	211	252	277	1,849

1999年から2016年末まで、脳死下臓器提供から1,849名の患者が臓器移植を受けた。改正臓器移植法施行前(1999~2009年)の年間平均臓器移植者数は32.5±18.6件、改正臓器移植法施行後(2011~2016年)の年間平均臓器移植者数は224.2±33.6件であり、t検定にて有意差(p<0.05)が認められた。





# 図・表 8.10 脳死下臓器提供 年別移植臓器数



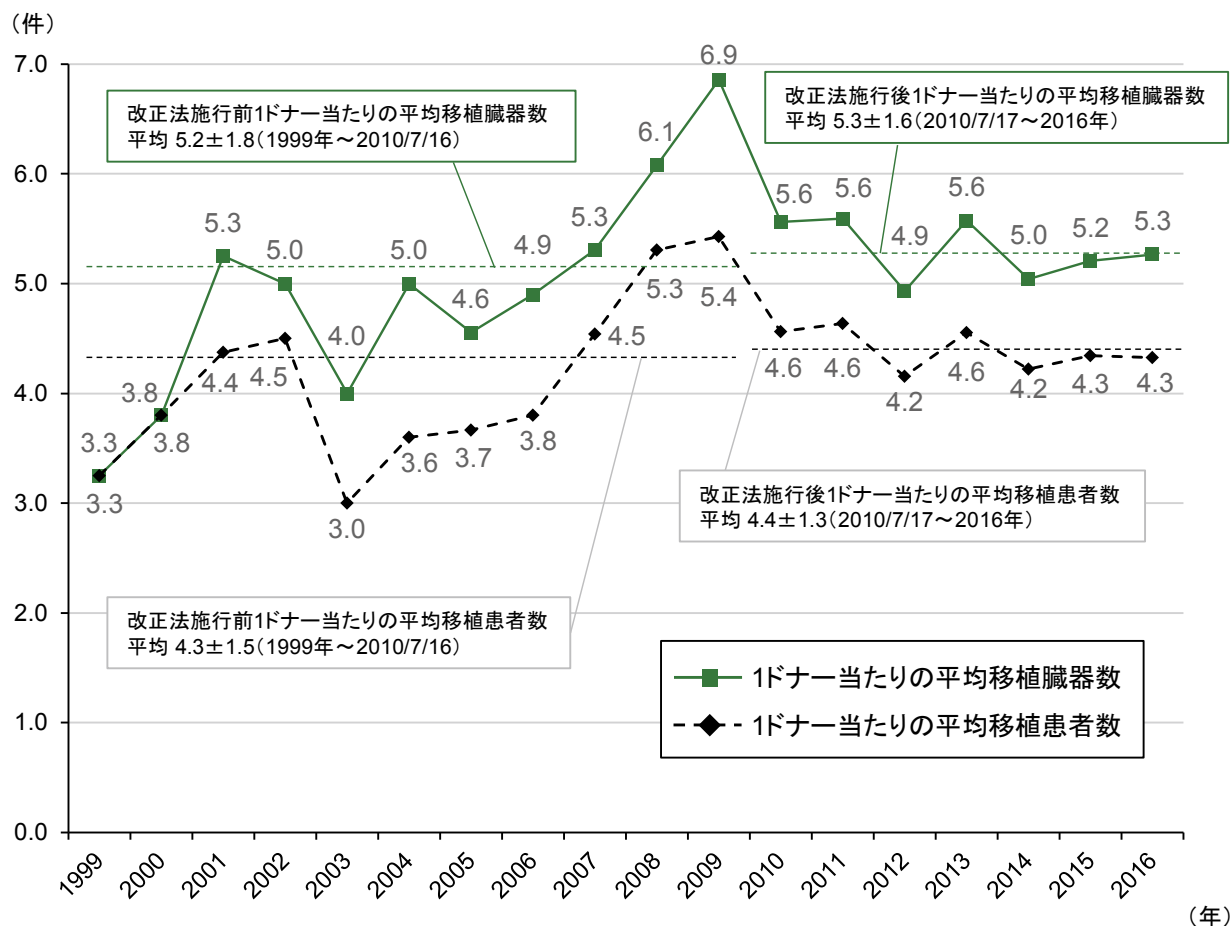
年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
心臓	0	0	3	3	6	5	0	5	7	10	10	11	7	23	31	28	38	37	44	52	320
肺	—	0	0	3	8	7	4	7	8	9	12	18	12	36	54	51	65	59	67	76	496
肝臓	0	0	2	5	6	5	2	3	4	5	9	13	7	28	37	38	37	42	51	53	347
膵臓	—	—	0	1	5	3	2	4	6	9	12	10	7	25	35	27	33	29	35	38	281
腎臓	0	0	8	7	16	10	4	6	16	16	24	26	14	62	86	78	88	85	105	117	768
小腸	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	4	3	0	1	0	0	1	14
合計	0	0	13	19	42	30	12	25	41	49	69	79	48	178	246	222	262	252	302	337	2,226

移植臓器数: 心肺同時を3臓器、両肺を2臓器、肝腎同時を2臓器、膵腎同時を2臓器、2腎を2臓器とカウントし、分割肝移植は2移植で1臓器とカウントする。

1999年から2016年末まで、脳死下臓器提供から2,226件の臓器が移植された。改正臓器移植法施行前(1999~2009年)の年間平均臓器移植件数は38.8±21.9件、改正臓器移植法施行後(2011~2016年)の年間平均臓器移植件数は270.2±41.9件であり、t検定にて有意差(p<0.05)が認められた。



# 図・表 8.11 脳死下臓器提供 平均移植患者数・平均移植臓器数



年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
脳死下臓器提供件数	4	5	8	6	3	5	9	10	13	13	7	32	44	45	47	50	58	64	423
移植臓器数	13	19	42	30	12	25	41	49	69	79	48	178	246	222	262	252	302	337	2,226
1ドナー当たりの平均移植臓器数	3.3	3.8	5.3	5.0	4.0	5.0	4.6	4.9	5.3	6.1	6.9	5.6	5.6	4.9	5.6	5.0	5.2	5.3	5.3
移植患者数	13	19	35	27	9	18	33	38	59	69	38	146	204	187	214	211	252	277	1,849
1ドナー当たりの平均移植患者数	3.3	3.8	4.4	4.5	3.0	3.6	3.7	3.8	4.5	5.3	5.4	4.6	4.6	4.2	4.6	4.2	4.3	4.3	4.4

脳死下臓器提供からの1ドナー当たりの平均移植臓器数は5.3件、1ドナー当たりの平均移植患者数は4.4件であった。改正法施行前(1999年～2010年7月16日)と施行後(2010年7月17日～2016年)では、臓器数・患者数ともに検定にて有意差は認めず、改正法施行後も変わりなく多くの臓器が移植に至っている。

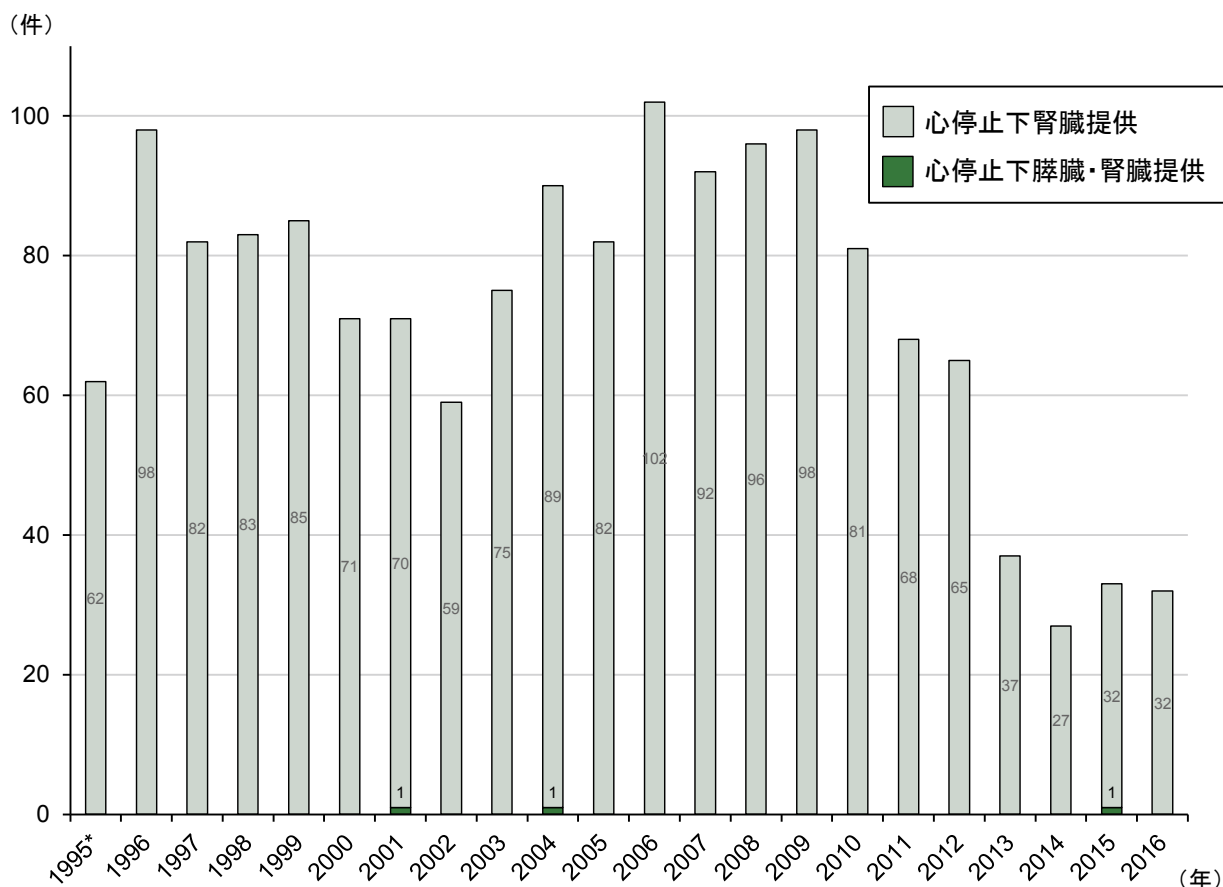
# 第9章 心停止下臓器提供

## 臓器提供・移植データブック 2017





# 図・表 9.1 心停止下臓器提供 年次提供件数



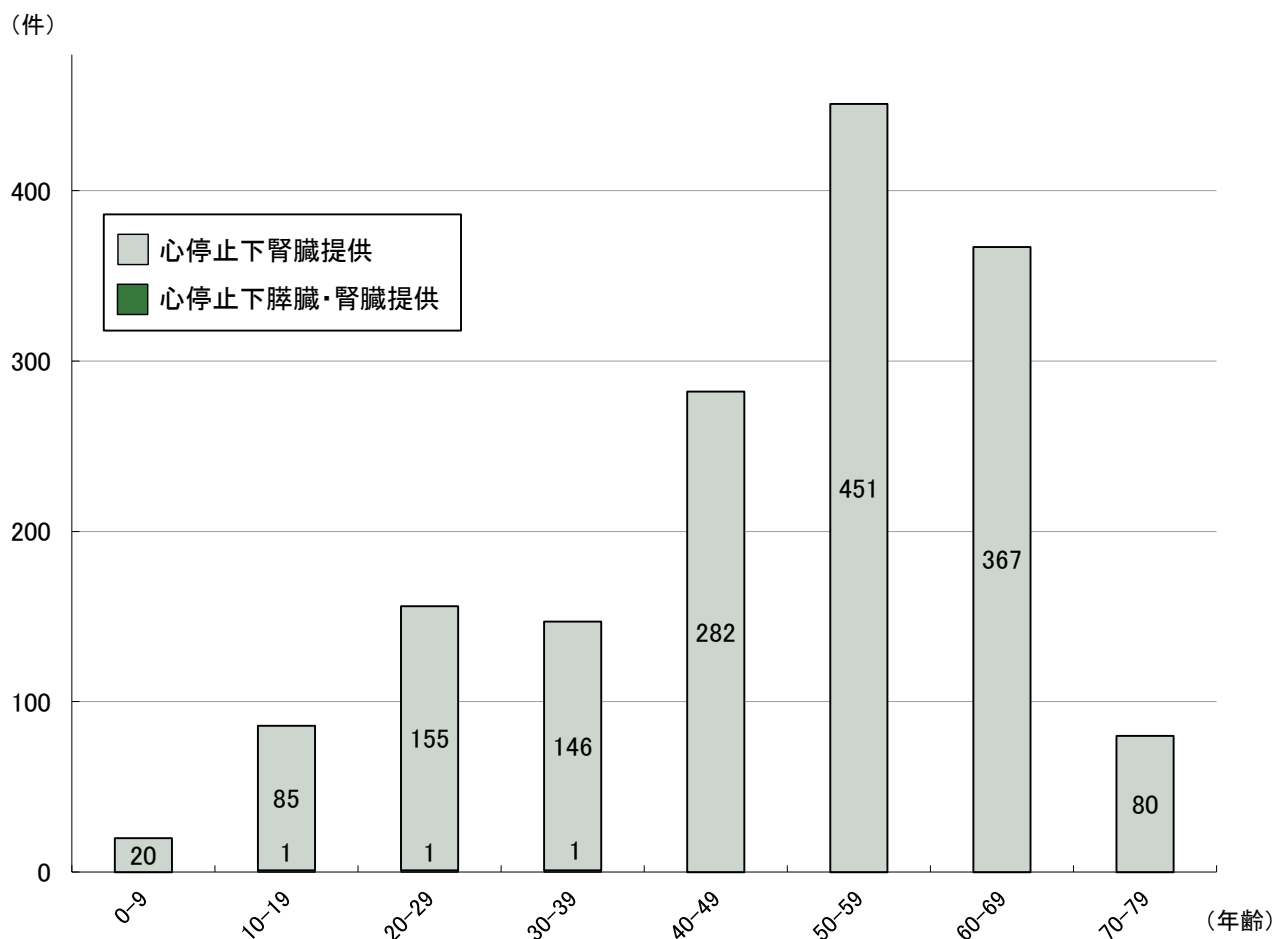
年	1995*	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
心停止下腎臓提供	62	98	82	83	85	71	70	59	75	89	82	102	92	96	98	81	68	65	37	27	32	32	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供							1			1											1		3
合計	62	98	82	83	85	71	71	59	75	90	82	102	92	96	98	81	68	65	37	27	33	32	1,589

\*1995年は、日本臓器移植ネットワーク発足後の4月～12月の件数

心停止下の臓器提供件数は、改正法施行前年間80件前後で推移していたが、改正法施行後は、脳死下臓器提供件数の増加に伴い年間40件前後となった。1995年4月以降、心停止下腎臓提供1,586件、心停止下膵臓・腎臓提供3件、合計1,589件であった。



## 図・表 9.2 心停止下臓器提供 ドナー年齢



年齢	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	合計
心停止下腎臓提供	20	85	155	146	282	451	367	80	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供	0	1	1	1	0	0	0	0	3
合計	20	86	156	147	282	451	367	80	1,589

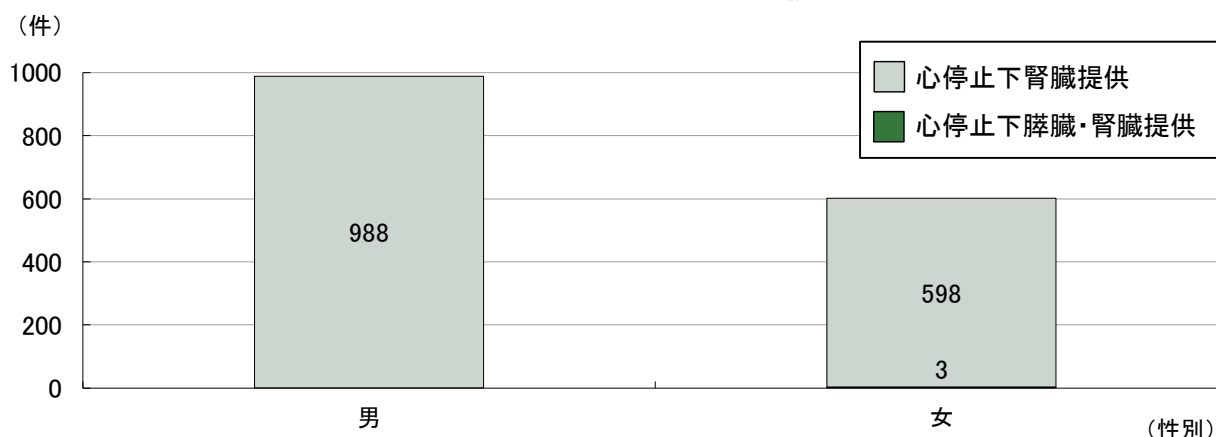
15歳未満: 34件

平均: 48.5 ± 16.2歳

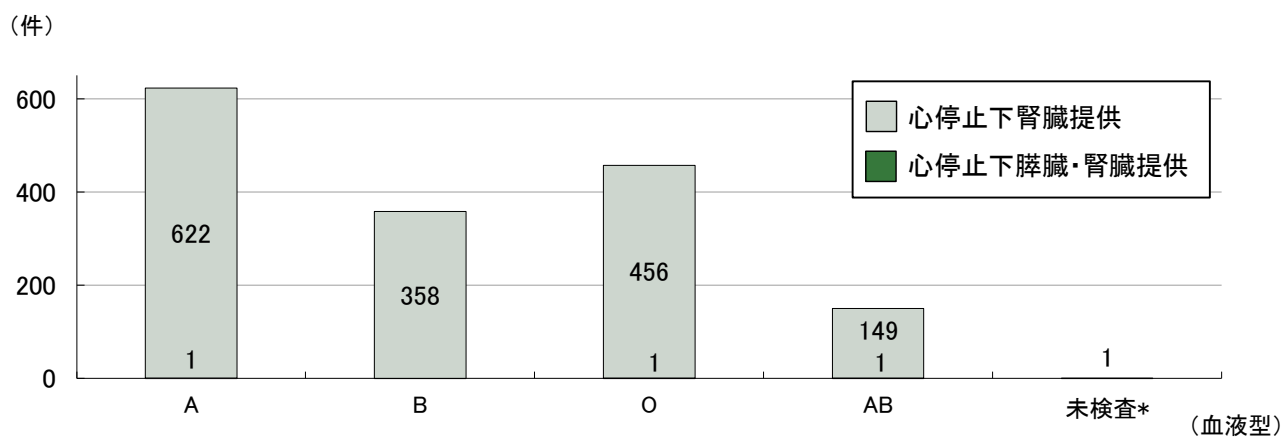
心停止下臓器提供1,589件中、年齢(10歳階級別)では、50～59歳が451件(28.4%)、60～69歳が367件(23.1%)であった。平均は48.5 ± 16.2歳、15歳未満は34件であった。最年少は1歳未満、摘出後移植に至った最年長は75歳であった。



# 図・表 9.3 / 9.4 心停止下臓器提供 ドナー性別・血液型



性別	男	女	合計
心停止下腎臓提供	988	598	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供		3	3
合計	988	601	1,589



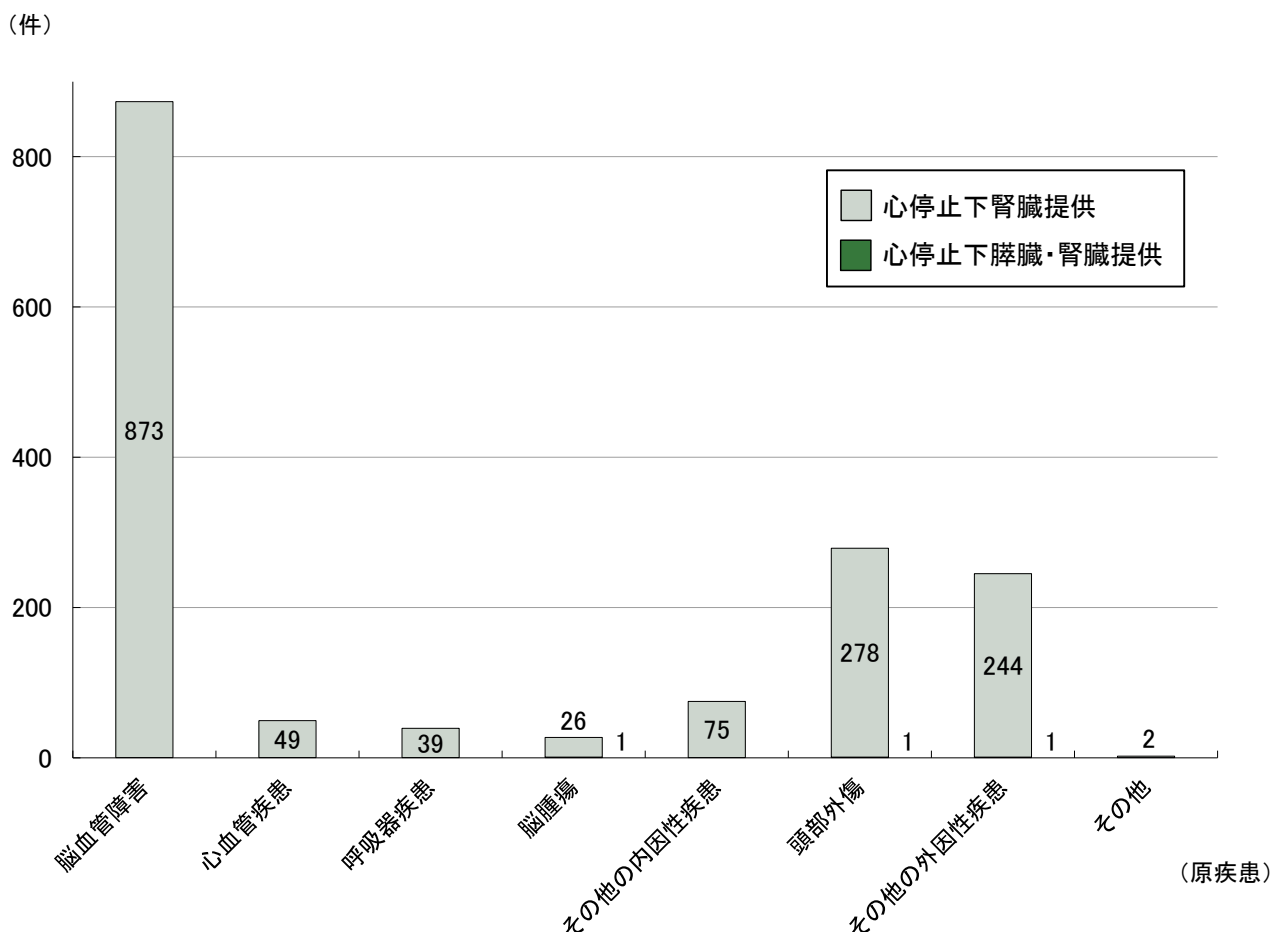
血液型	A	B	O	AB	未検査*	合計
心停止下腎臓提供	622	358	456	149	1	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供	1		1	1		3
合計	623	358	457	150	1	1,589

\*急変後に摘出したものの、血液型検査実施前に移植断念した事例

心停止下臓器提供1,589件中、男性988件(62.2%)、女性601件(37.8%)であり、血液型A型623件(39.2%)、B型358件(22.5%)、O型457件(28.8%)、AB型150件(9.4%)であった。



## 図・表 9.5 心停止下臓器提供 ドナー原疾患



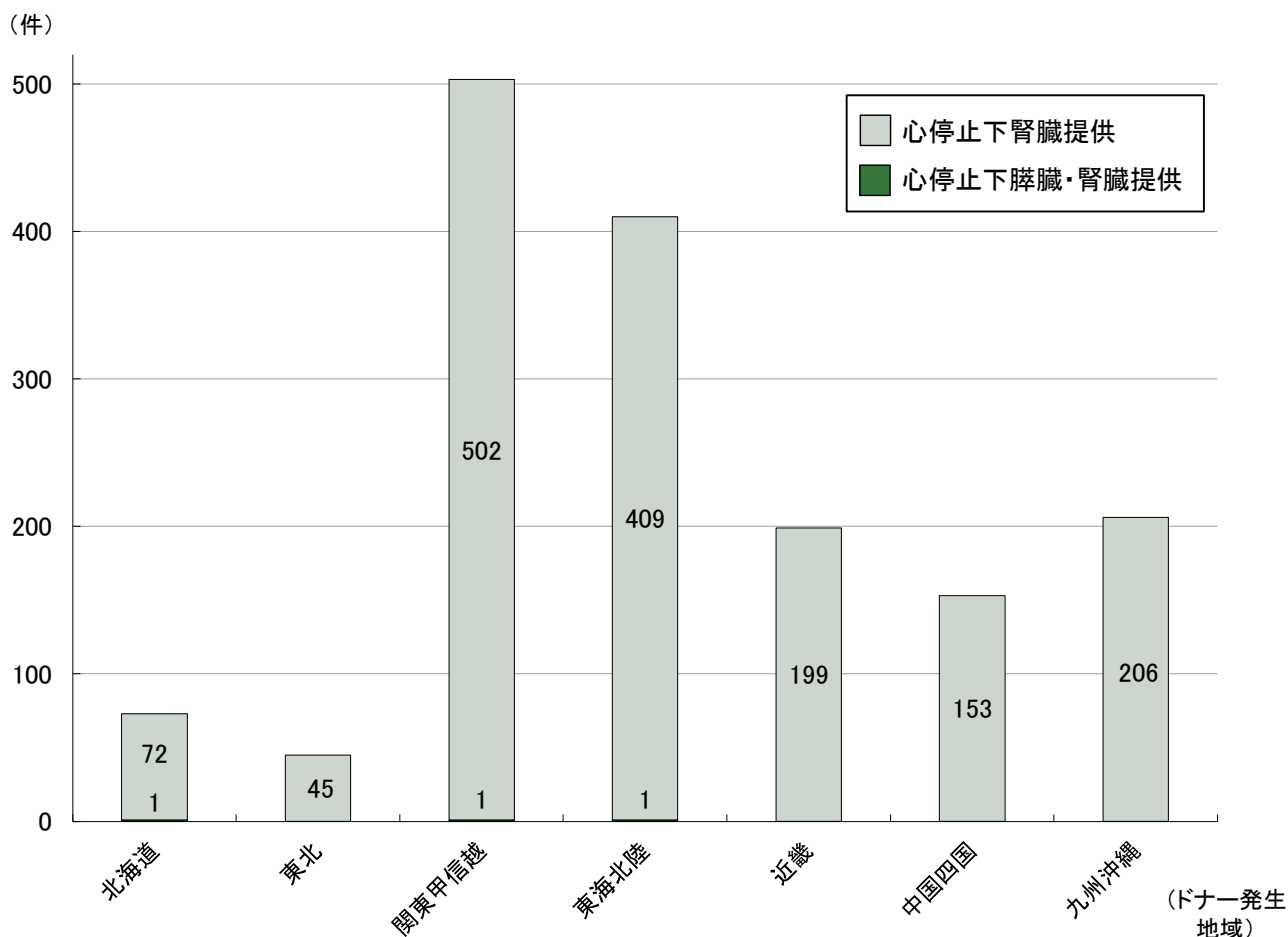
原疾患	内因性疾患						外因性疾患			その他	合計
	脳血管障害	心血管疾患	呼吸器疾患	脳腫瘍	その他	小計	頭部外傷	その他	小計		
心停止下腎臓提供	873	49	39	26	75	1,062	278	244	522	2	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供				1		1	1	1	2		3
合計	873	49	39	27	75	1,063	279	245	524	2	1,589

心停止下臓器提供1,589件中、ドナーの原疾患は、脳血管障害873件(54.9%)、頭部外傷279件(17.6%)であった。内因性疾患が1,063件(66.9%)、外因性疾患が524件(33.0%)であった。





## 図・表 9.6 心停止下臓器提供 ドナー発生地域



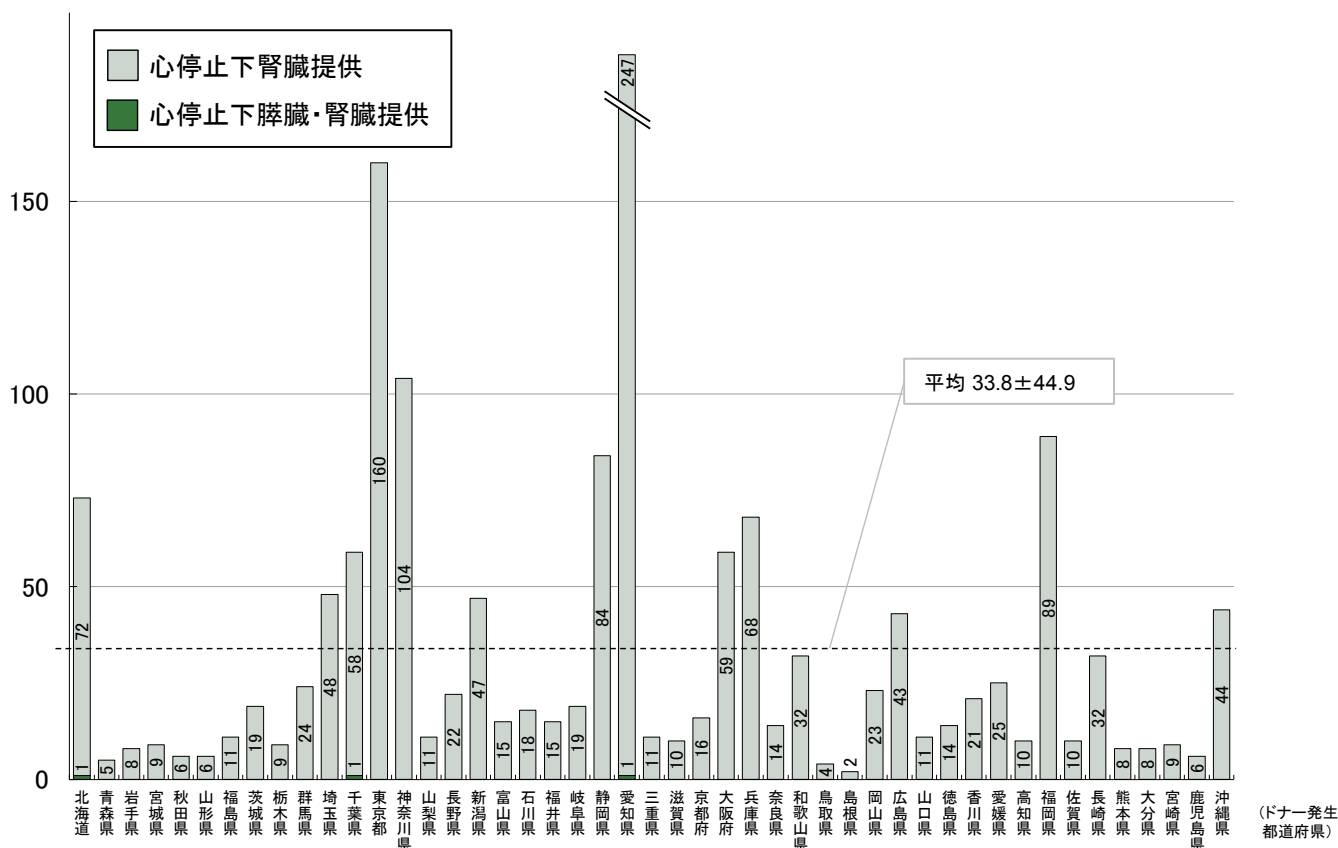
ドナー発生地域	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
心停止下腎臓提供	72	45	502	409	199	153	206	1,586
心停止下膵臓・腎臓提供	1	0	1	1	0	0	0	3
合計	73	45	503	410	199	153	206	1,589

心停止下臓器提供1,589件中、ドナーの発生地域は、北海道73件(4.6%)、東北45件(2.8%)、関東甲信越が503件(31.7%)、東海北陸410件(25.8%)、近畿199件(12.5%)、中国四国153件(9.6%)、九州沖縄206件(13.0%)であった。



# 図・表 9.7 心停止下臓器提供 ドナー発生都道府県

(件)

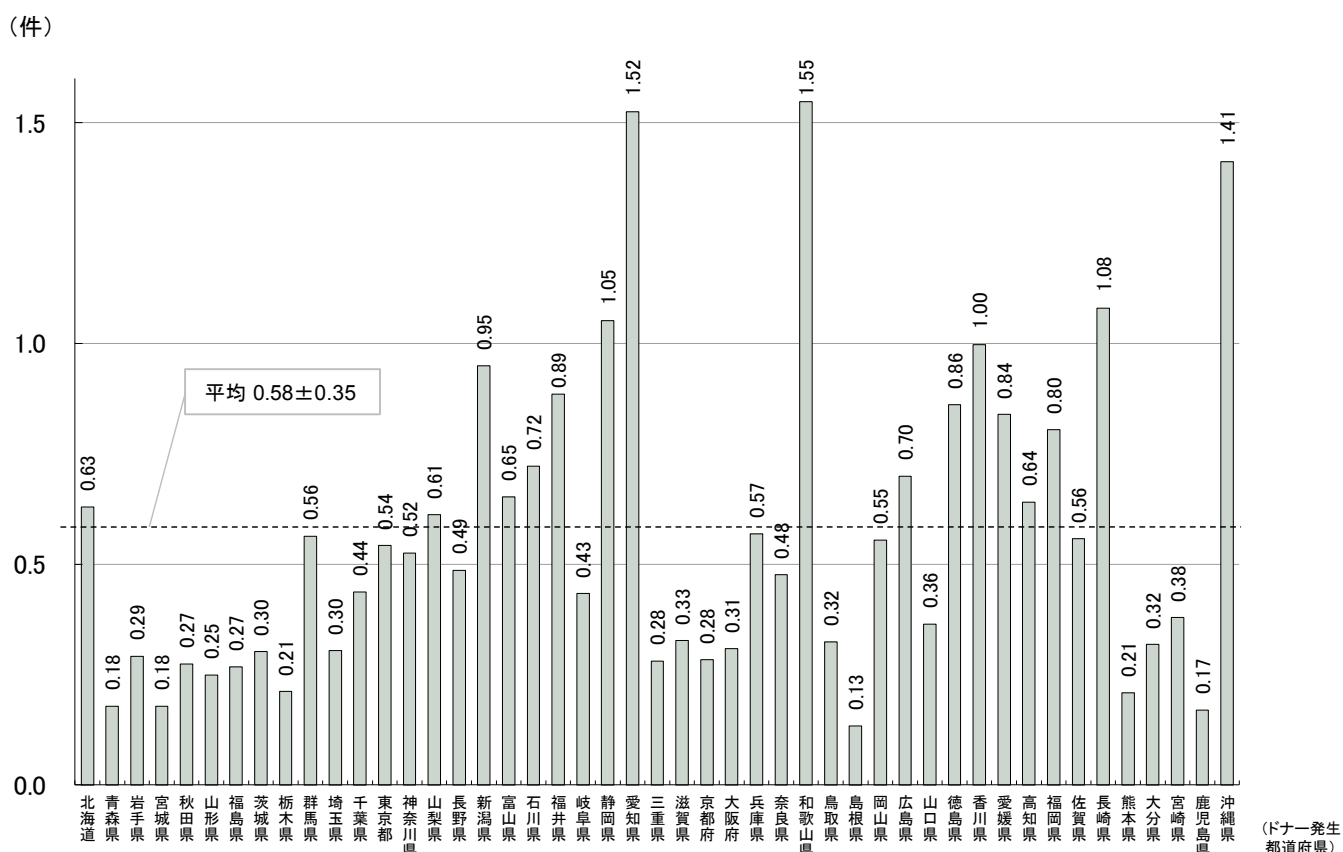


都道府県	腎臓提供	臓器・腎臓提供	合計	都道府県	腎臓提供	臓器・腎臓提供	合計	都道府県	腎臓提供	臓器・腎臓提供	合計	都道府県	腎臓提供	臓器・腎臓提供	合計
北海道	72	1	73	東京	160	0	160	滋賀	10	0	10	香川	21	0	21
青森	5	0	5	神奈川	104	0	104	京都	16	0	16	愛媛	25	0	25
岩手	8	0	8	山梨	11	0	11	大阪	59	0	59	高知	10	0	10
宮城	9	0	9	長野	22	0	22	兵庫	68	0	68	福岡	89	0	89
秋田	6	0	6	新潟	47	0	47	奈良	14	0	14	佐賀	10	0	10
山形	6	0	6	富山	15	0	15	和歌山	32	0	32	長崎	32	0	32
福島	11	0	11	石川	18	0	18	鳥取	4	0	4	熊本	8	0	8
茨城	19	0	19	福井	15	0	15	島根	2	0	2	大分	8	0	8
栃木	9	0	9	岐阜	19	0	19	岡山	23	0	23	宮崎	9	0	9
群馬	24	0	24	静岡	84	0	84	広島	43	0	43	鹿児島	6	0	6
埼玉	48	0	48	愛知	247	1	248	山口	11	0	11	沖縄	44	0	44
千葉	58	1	59	三重	11	0	11	徳島	14	0	14	合計	1,586	3	1,589

心停止下臓器提供1,589件中、都道府県別では、愛知県248件(15.6%)、東京都160件(10.1%)、神奈川県104件(6.5%)、福岡県89件(5.6%)、静岡県84件(5.3%)、北海道73件(4.6%)、平均33.8件であった。



# 図・表 9.8 心停止下臓器提供 ドナー発生都道府県(人口100万人あたり)



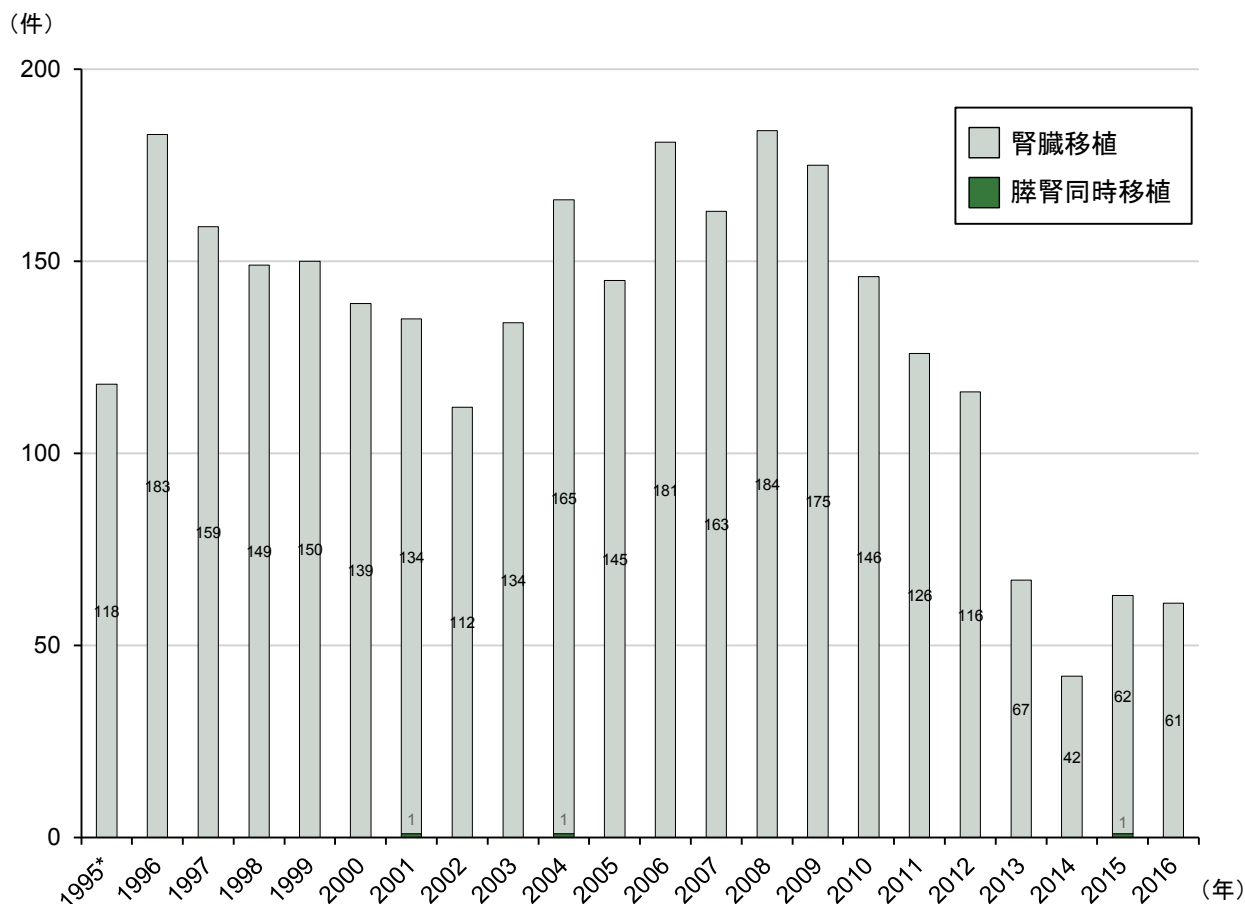
都道府県	人口* (100万人)	年間人口100万人当たり	都道府県	人口* (100万人)	年間人口100万人当たり	都道府県	人口* (100万人)	年間人口100万人当たり	都道府県	人口* (100万人)	年間人口100万人当たり
北海道	5.35	0.63	東京	13.62	0.54	滋賀	1.41	0.33	香川	0.97	1.00
青森	1.29	0.18	神奈川	9.15	0.52	京都	2.61	0.28	愛媛	1.38	0.84
岩手	1.27	0.29	山梨	0.83	0.61	大阪	8.83	0.31	高知	0.72	0.64
宮城	2.33	0.18	長野	2.09	0.49	兵庫	5.52	0.57	福岡	5.10	0.80
秋田	1.01	0.27	新潟	2.29	0.95	奈良	1.36	0.48	佐賀	0.83	0.56
山形	1.11	0.25	富山	1.06	0.65	和歌山	0.95	1.55	長崎	1.37	1.08
福島	1.90	0.27	石川	1.15	0.72	鳥取	0.57	0.32	熊本	1.77	0.21
茨城	2.91	0.30	福井	0.78	0.89	島根	0.69	0.13	大分	1.16	0.32
栃木	1.97	0.21	岐阜	2.02	0.43	岡山	1.92	0.55	宮崎	1.10	0.38
群馬	1.97	0.56	静岡	3.69	1.05	広島	2.84	0.70	鹿児島	1.64	0.17
埼玉	7.29	0.30	愛知	7.51	1.52	山口	1.39	0.36	沖縄	1.44	1.41
千葉	6.24	0.44	三重	1.81	0.28	徳島	0.75	0.86	合計	126.93	0.58

\*人口統計:総務省統計局(2016年10月1日現在)

1995年4月から2016年末まで、人口100万人あたりの年間心停止下臓器提供件数は、和歌山県1.55件、愛知県1.52件、沖縄県1.41件、平均0.58件であった。



# 図・表 9.9 心停止下臓器提供 年別移植者数



年	1995*	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
腎臓移植	118	183	159	149	150	139	134	112	134	165	145	181	163	184	175	146	126	116	67	42	62	61	2,911
膵腎同時移植							1			1											1		3
合計	118	183	159	149	150	139	135	112	134	166	145	181	163	184	175	146	126	116	67	42	63	61	2,914

\*1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4月～12月の件数

1995年4月から2016年末まで、心停止下臓器提供から2,911名の登録者が腎臓移植、3名の登録者が膵腎同時移植を受けた。